

移動の足不足の改善状況についての検証及び令和8年3月末時点の利用者目線での検証結果の評価

令和8年7月21日
内閣府

1. 調査実施内容

生活者、旅行者の移動の実態を把握するため、内閣府において調査を実施。

ア 生活者

a 対象地域

- ・大規模団体(人口100万人以上)11団体
- ・中規模団体(20万人以上100万人未満)100団体
- ・小規模団体(5万人以上20万人未満)383団体
- ・東京23区 23団体

b 有効回答数

8,000件(大規模団体1,600件、中規模団体2,800件、小規模団体2,800件、東京23区800件)

c 調査期間

令和8年2月6日(金)～2月20日(金)

d 調査方法

インターネットによるモニターアンケート調査を民間調査会社に委託

イ 旅行者

a 対象地域

47都道府県(宿泊旅行統計調査(令和6年1月～12月)の都道府県別宿泊者数に基づく分布に応じた形で調査。)

b 有効回答数

8,000件

c 調査期間

令和8年2月6日(金)～2月17日(火)

d 調査方法

インターネットによるモニターアンケート調査を民間調査会社に委託

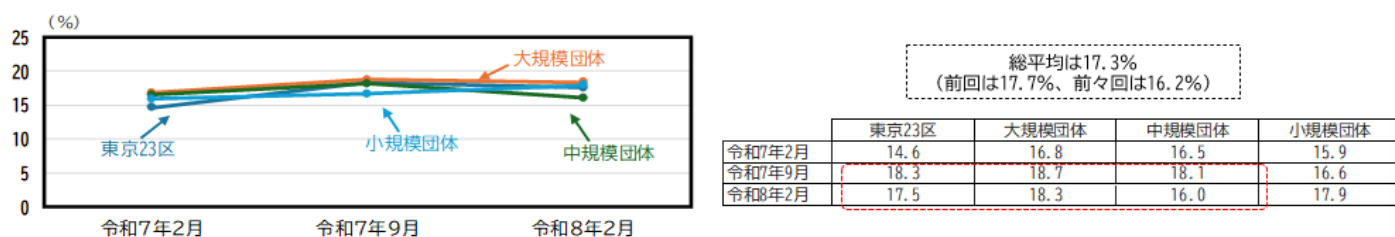
2. 調査結果の検証

調査結果の検証については、以下のとおりである。

① 生活者

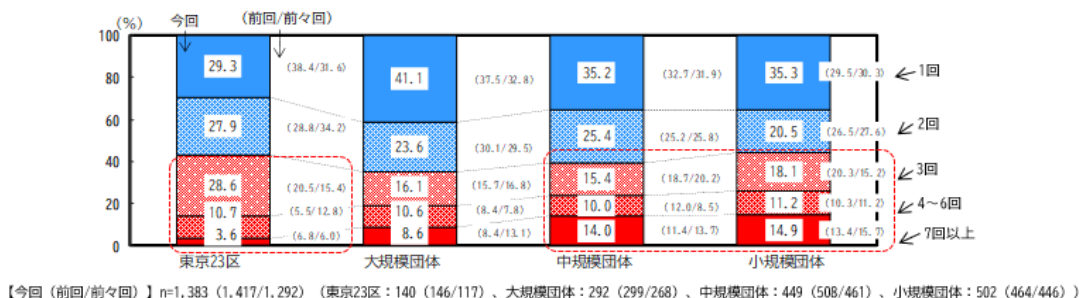
生活者については、団体規模(自治体規模)にかかわらず、6人に1人の割合で3か月以内に移動に困った経験があると回答(1図)。団体規模別にみると、東京23区を除き、小規模団体ほど、困った経験がある人のうち、その回数が多い人の割合が高まる傾向にある(2図)。また、3か月前と比べ、移動の足不足に関する状況は特に変わっていないと回答している人は8割弱存在している(3図)。足不足が改善した場合に、これまで以上にやりたいこと/やってみたいことがあると回答した者は8割弱存在している(4図)。

1図 移動の足に困った経験がある者の割合



【今回・前回・前々回】 n=8,000 (東京23区: 800、大規模団体: 1,600、中規模団体: 2,800、小規模団体: 2,800)

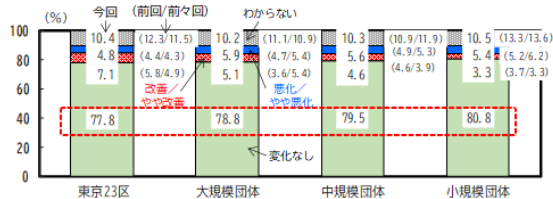
2図 移動の足に困った経験の頻度別割合



注) 移動の足に困った経験とは、タクシーがつかまらなかった、バス・鉄道の減便で移動しづらくて困った、15分以上の待ち時間発生した、遠回りのルートにせざるを得なかった、移動先が変更された、等のこと。

3図 3か月前と比べた移動の足不足の状況変化

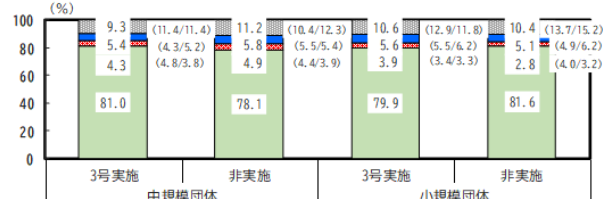
①東京23区/大規模団体/中規模団体/小規模団体別



②東京23区/大規模団体/中規模団体/小規模団体別 (変化なし)



③中規模団体・小規模団体の3号実施注/未実施別

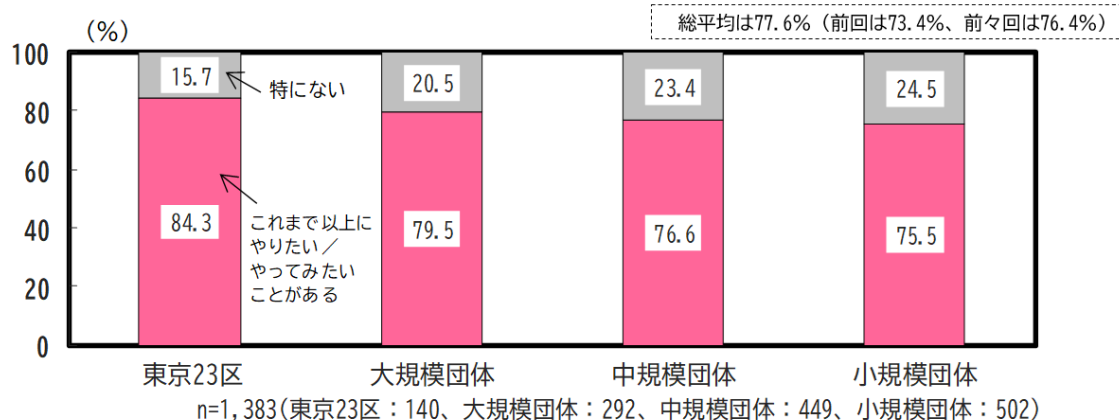


④中規模団体・小規模団体の3号実施注/未実施別 (変化なし)



注) 令和6年9月30日までに3号の運用を開始した地域。

4図 移動の足不足の状況が改善した場合、これまで以上にやりたい/やってみることがあるか



注）移動の足に困った経験があると回答した者に対する割合。

自由回答（抜粋）

1 生活者

※下記コメントは、回答いただいた自由回答を要約したものを記載。事実関係は未確認。



バスの減便の為にバス停で待つ時間が長くなった。



電車遅延で、1時間に2本しかないバスに乗り遅れて往復で1時間以上、時間を無駄にした。



自家用車がなくなって以来、食品のまとめ買いができなくなった。



タクシーがなかなか捕まらず約束の時間に間に合わなかった。



バスが1時間に1本なため、もし乗り遅れてしまうと1時間待たなくてはならず、予約等で時間の決められているもの等は非常に困った。



電車が止まった時に、タクシーがつかまらなかった。



タクシーの営業時間が短縮され、夜動くタクシーが極端に少なくなった。



バスの便が減ってきて、1つのことを1日ばかりでするようになって時間がかかって仕方がなかった。

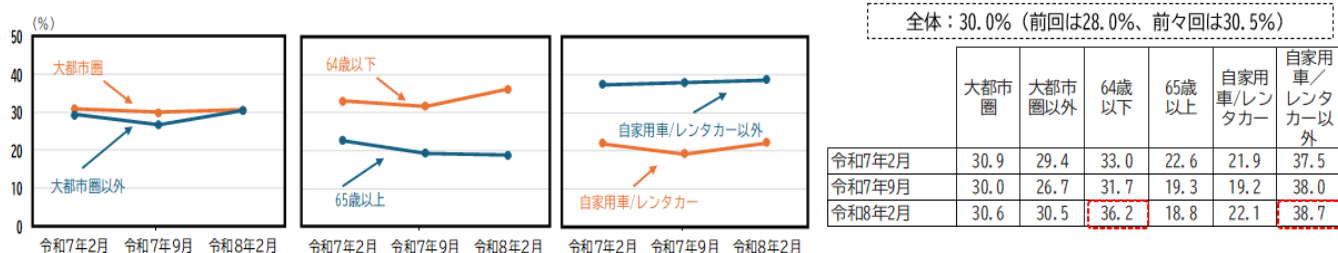


- ・バスの本数が少ない（1時間に1本しかない、利用したい時間にバスがない）
- ・バスの減便や路線減少
- ・バスの遅延
- ・タクシーがつかまらない
- ・深夜早朝の移動が困難（公共交通無し・バスやタクシーがない）
- ・積雪や天候不良による遅延や運休
- ・自転車の不具合や自家用車がなくて移動できない など

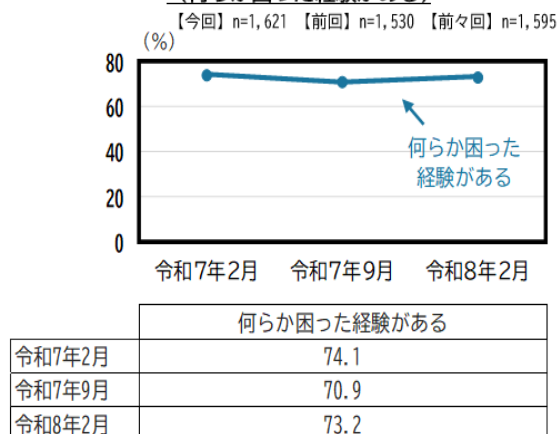
② 旅行者

旅行者については、3～4人に1人の割合で旅行時に移動に困った経験があると回答(1図)。また、タクシーを手配しようとした人のうち、7割程度が何らか手配に困った経験があると回答している(2図)。今後、スマホ等で簡単に手配できる移動サービスが新たに提供された場合、旅先での移動のしやすさが改善されると思う者の割合は5割弱存在している(3図)。

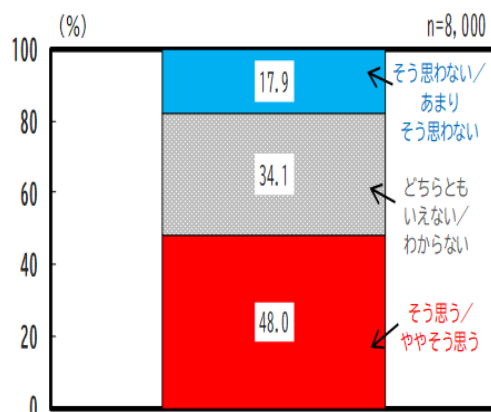
1図 旅行先において移動に困った場面がある者の割合



2図 旅行先でタクシー手配時に困った経験の有無（何らかに困った経験がある）



3図 スマホ等で簡単に手配できる移動サービスが今後新たに提供された場合、旅行先での移動のしやすさが改善されると思うか



自由回答（抜粋）

2 旅行者

※下記コメントは、回答いただいた自由回答を要約したものを記載。事実関係は未確認。

東北
70～79歳

タクシー配車アプリを使ってタクシーを利用したが、地元のようにイメージが分からず、20～30分待つことが頻繁にあった。

北海道
50～59歳

ホテルから電車までの道のりが長く、タクシーもつかまらなかった。

中部
70～79歳

バスがなかなか来ないのでタクシーに乗ろうと思ったがタクシーもなかなか来ず、来たら乗車済みなので大変だった。

南関東（東京以外）
40～49歳

電車が人身事故で運行中止となったため、他の路線と高速バスに変更して目的地に向かった。

九州
30～39歳

電車の本数が少なくて2時間ほど待った。空港から主要駅までの移動手段がバスしかなく、混雑していて2本ほど待った。

関西
20～29歳

駅から目的地のタクシーは捕まるが、帰りのタクシーが捕まらなかった。

沖縄
15～19歳

タクシーがなかなか来なくて長時間待たされた。

複数の方の回答

- ・バス、鉄道の本数が少ない（減便、曜日による運休がある）
- ・待ち時間が長すぎる
- ・バスや鉄道の遅延
- ・バスや鉄道の接続が悪い
- ・バスや鉄道の混雑
- ・道路渋滞
- ・公共交通機関が少ない
- ・天候不良による遅延や運休
- ・目的地までのルートや案内表示が分かりにくい など

3. 令和8年3月末時点での評価

移動の足不足解消に向けて各種取組がなされており、利用者目線でみても、前回調査(令和8年1月公表)から若干改善している値も一部にみられる。他方、運転者不足等により生じている全国の移動の足不足は、今回調査においても、依然として各地の各主体による回答においてみられる状況が続いており、引き続き、全国の移動の足不足の解消に向けて、更にスピード感を持って各種の取組を進めていく必要がある。

以上